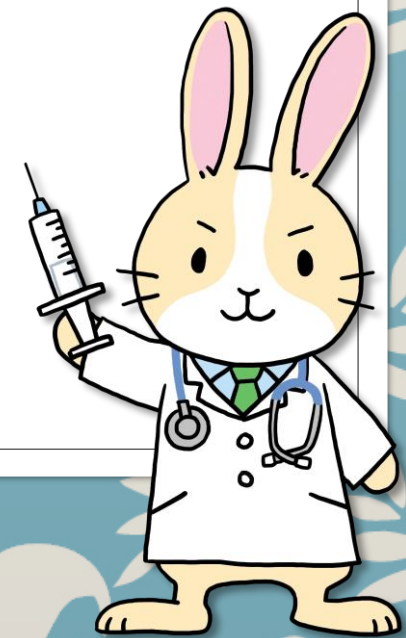


予防接種の豆知識

クリニックからのお願いを交えて

～知って納得、みんなで予防接種を理解しよう～

糸魚川こどもクリニック 渡辺 祐紀



クリニックからのお願い

- 予防接種のご予約は**お手元に母子手帳を準備**されてから、**平日の診療時間内（10時～17時がオススメ）**にお願い申し上げます。
- 乳幼児健康診査を実施する前には準備や確認のために時間を要することがございます。可能な限りお待たせしないように努めますので、**問診票の事前記載、予約時間の厳守**など、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様が気持ちよく健診・予防接種を受けられるためにも
ご協力をよろしくお願い致します



予防接種の流れ

- **母子手帳**、及び**必要事項**を記載した**問診票**を受付にお渡しください



- 体温計をお渡ししますので検温をしてください



- 体温、接種間隔・時期に問題が無ければ医師の診察が始まります



- 診察後に予防接種が実施されます

- ✓ 母子手帳をお忘れの方は受付で教えてください
- ✓ 以下の方は予防接種ができません
 - (1) 体温が37.5度以上ある
 - (2) 不活化ワクチンを過去6日以内または、生ワクチンを過去27日以内に接種した
 - (3) 同じワクチンの接種間隔期間が十分にあいていない
 - (4) ワクチンの接種期間がすでに過ぎてしまった 等

※上記は受付後に医師・看護師で確認いたします



乳幼児健康診査の流れ

- **母子手帳、及び必要事項を記載した問診票**を受付にお渡しください



- 処置室で身長、体重を測定します

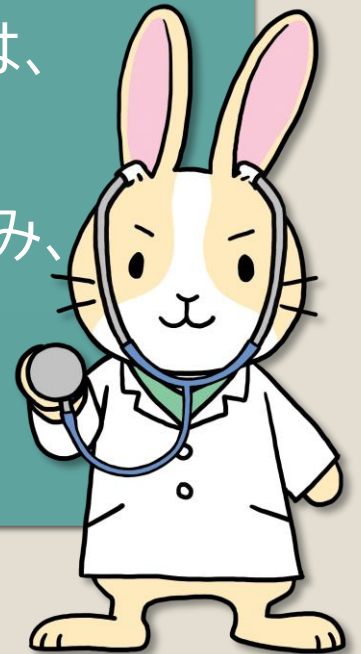


- 診察室で医師による診察（健康診査）が始まります



- 診察後に予防接種を実施される方もいらっしゃいます

- ✓ 母子手帳をお忘れの方は受付にお伝えください
- ✓ 6か月健診の費用は糸魚川市が負担されます
- ✓ 同日に予防接種をされる方は、健診後に実施します
- ✓ 計測から診察まではおむつのみ、または脱衣しやすい格好でお待ちください



予防接種とは

- 予防接種は発症してしまうと**重度の後遺症を残すか、命を落としかねない重度の病気から身を守るために生まれた人類の英知**です
- これら予防接種によって防げる病気は**VPD**（Vaccine Preventable Disease）と呼ばれ、人類が長年苦しんだ疾患ばかりです
- 大切なお子さまの未来を**予防接種によってVPDから守ってあげましょう**

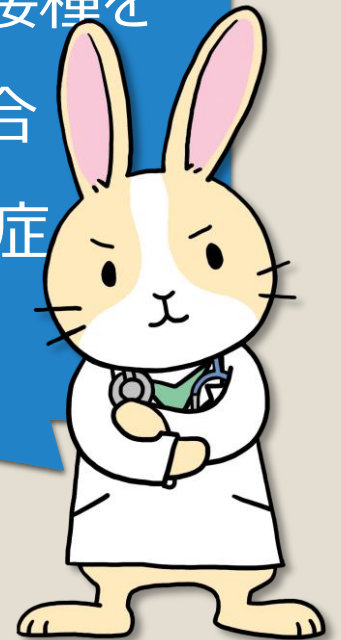
注射はかわいそうかも知れないけれど、予防接種によって『**重度の後遺症を残したり、命をも落としかねない病気(VPD)**』からお子さまを守ってあげるとはとても大切で、小児科医の重要な仕事の一つです。



定期接種と任意接種

- 任意接種と聞くと「接種しなくてもいいんじゃないか」と思われる方がいらっしゃるかも知れませんが
- しかし、例えば任意接種の一つであるおたふくかぜを発症してしまうと回復が期待できない難聴を合併してしまふことがあります
- 他のVPDも治療が確立していない感染症ばかりです。定期・任意に関わらずどちらも接種してあげましょう

定期接種も任意接種も非常に大切なワクチンです。任意接種だから受けなくても良いと安易に考えず、予防接種をしないために病気を発症した場合に生じるデメリット（重たい後遺症など）をよく考えて決めましょう。



定期

B型肝炎ウイルス

- 全世界では約3億人がB型肝炎ウイルスに感染し、それに関わる病気（肝硬変、肝臓がんなど）で毎年約60万人が死亡しています
- 日本での感染者は約100万人と推定されています
- 血液、性交の他に汗や涙、唾液などの体液でも感染してしまいます
- 幼少時は症状が出ないことが多く発見が遅れてしまいがちです

汗や涙のような体液で感染が成立してしまい、年少児は感染後に殆ど症状が出ないことから、2004年に九州の保育所で集団感染の事例が起きてしまいました。再び不幸な事件を起こさないためにも2016年4月1日以前に生まれた方で予防接種をされていない方も予防接種を積極的に受けましょう



定期

肺炎球菌（侵襲性肺炎球菌感染症；IPD）

- 2歳以下の子どもは肺炎球菌に対する免疫が殆どないため、罹患すると重症化することが多いです
- 特に重症な病気が細菌性髄膜炎で、ワクチン導入前は年間200人くらい発生していました
- この細菌性髄膜炎になってしまうと死亡が7～10%、後遺症率が30～40%残ると言われています

肺炎球菌と言う名前ですが、これらの引き起こす最も恐ろしい病気は細菌性髄膜炎です。髄膜とは脳や脊髄を守る大切な臓器です。ここに細菌が感染すると脳や脊髄を傷害するために、重たい後遺症を残したり、命を落としたりすることがあります。



定期

Hib（ヘモフィリス・インフルエンザ桿菌 b 型）

- ワクチン導入前の日本では、**年間約600人**が重いヒブ感染症である**細菌性髄膜炎**になっていました
- 発症した子どもの殆どは0～1歳児で**生後5か月頃から急に増えます**
- ヒブ髄膜炎は**抗菌薬が効かない耐性菌が多く**、治療は極めて困難です。**2～5%の児が命を奪われ**、**30%の児に脳の後遺症が残ります**

ワクチン導入前は年間1,500人の方が不幸にも細菌性髄膜炎を発症していました。なんと、そのうちの1,000人は小児でした。しかし、ワクチン導入後に患者は激減し、2014年度にはHib髄膜炎発症者を0にすることができたのです！



定期

四種混合(百日咳、ジフテリア、破傷風、ポリオ)

- 百日咳...百日咳菌による感染症。重度の咳嗽で**窒息する**こともあります。
- ジフテリア...ジフテリア菌による感染症で、菌の毒素により**神経や心臓の筋肉を障害**します
- 破傷風...破傷風菌が傷口から体内に入り、**全身をけいれん**させます
- ポリオ...ポリオウイルスによって**手足のまひが起こり、一生の後遺症として残る**ことがあります

特に百日咳は全年齢で発症してしまうために早期のワクチン接種が求められます。欧米では百日咳の免疫効果を維持するために小学校高学年で二種混合の代わりに三種混合ワクチンを接種するそうです。



任意

ロタウイルス

- 胃腸炎の原因になるウイルスはたくさんありますが、もっとも重症になりやすいのが**ロタウイルスによる胃腸炎**です
- 水のような下痢が続き、嘔吐も伴います。体から水分と塩分が失われ、脱水症を生じます。日本でも**毎年80万人が外来受診し、8万人が入院、約10人が死亡**します
- 当院ではより予防効果の高いロタテックをお勧めしております

ロタウイルスワクチンはロタリックスとロタテックとがあり、予防効果は前者で90%、後者は95%以上とされています。いずれにしても高い予防効果がございますので、**予防接種を強くお勧めします。**



定期

麻疹風しんワクチン

- 麻疹（はしか）...感染初期は熱と鼻水、せきと言ったかぜ症状が出ます。その後赤い発疹が現れ、7~10日間くらい高体温が続きます。気管支炎、肺炎、脳炎などの合併症を起こしやすく約30%の人に生じ、亡くなる人も多数います
- 風しん...症状は軽度ですが、妊娠初期の女性が感染すると胎児に重度の後遺症が残ることがあります

院長は10年以上前に麻疹を発症して、40℃を超える発熱が続き入院してしまったことがあります（当時、死ぬかと思いました）。また、過去に東京都内で大流行したこともありましたので非常に重要なワクチンと言えます。風しんもですね。

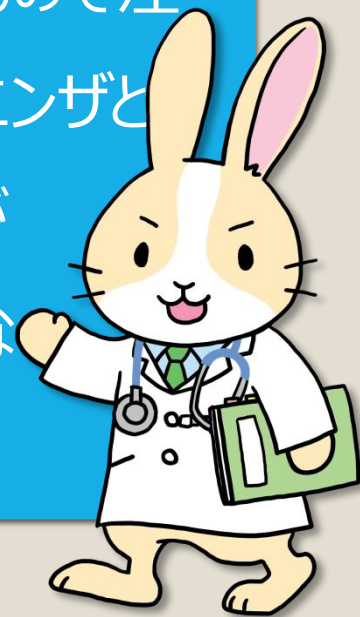


定期

水痘（みずぼうそう） ワクチン

- 。軽いと思われる水痘（みずぼうそう）ですが、**脳炎や肺炎、皮膚の重い細菌感染症など多くの合併症**が知られています。日本でも、**毎年約3,000人が重症化し、10人以上が死亡**しています。特に重症になりやすいのは、**乳児、高学年児、アトピー性皮膚炎など皮膚の病気のある人**などですが、健康な子どもや大人も重症になります

水ぶくれができやすいのは顔、頭、体幹（胴体）です。できる場所によっては癒えない傷になりかねませんので注意しましょう。最近はインフルエンザと同じように検査キットで診断ができるようになりました。便利な時代になって来ましたね。



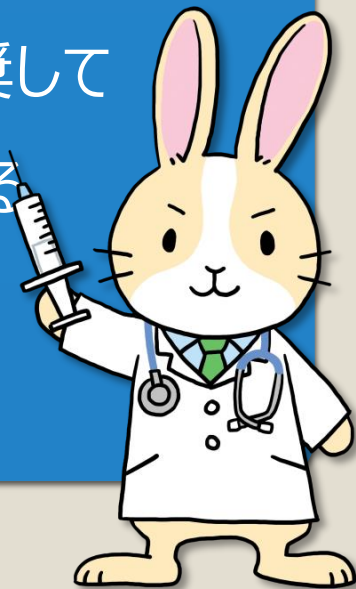
任意

おたふくかぜワクチン

以下の合併症が知られています

- 無菌性髄膜炎...約50人に1人の割合で起こり、強い頭痛と繰り返す嘔吐に苦しめられます
- ムンプス難聴...一生治らない重度の難聴が約1,000人に1人の割合で発症します。日本国内では年間約700人と推計されています
- ムンプス関連脳炎...毎年約30人が発症し、重度の障害が残るか死に至ることがあります

無菌性髄膜炎で最も多い原因ウイルスがおたふくかぜ（ムンプス）ウイルスです。また、難聴を合併してしまう方も多く、日本耳鼻咽喉学会もワクチン接種を推奨しています。不妊の原因にもなり得る感染症ですので必ず予防接種をしましょう。



定期

日本脳炎ワクチン

- 日本脳炎ウイルスに感染した豚の血液を吸った蚊を介して人への感染が成立します。重大なVPDであり、脳炎を発症するとけいれんや意識障害がおこります（死亡することもあります）。
- 西日本での発症者が多いことから、地域によっては予防接種を生後6か月から始めることもあります。
※北海道では定期接種として扱われていませんでした

糸魚川市ではワクチンが不足していて中々接種できない方も多いかも知れません。全国の業者から集めておりますので、入手でき次第ご連絡を致します。今しばらくお待ちくださいませ。

